

令和
6年度
決算

八戸市のお金のつかい方

固財政課 43-2154

一般会計

福祉や教育、公共事業など、市の基本的事業の収入・支出を経理する会計です。

※()内は対前年度比

詳しくは
こちら

歳入 1,086億円 (17億円↓)



歳出 1,052億円 (14億円↓)

歳入から歳出を引いた34億円は
令和7年度に繰り越しました。

お金の使い道

市民1人当たりの支出額は49万2,000円でした。

※3月末の人口をもとに一般会計で計算

使い道	1人あたりの支出額
高齢者や障がい者、子どもの福祉など	19万2,000円
保健、医療、ごみ、し尿処理など	6万5,000円
学校教育や生涯教育など	5万5,000円
公園、道路、河川の整備など	4万7,000円
市の借入金の返済	4万3,000円

使い道	1人あたりの支出額
戸籍証明書発行などの窓口業務、選挙など	4万1,000円
商工業の振興など	1万9,000円
消防、救急など	1万6,000円
農林水産業の振興など	7,000円
議会、雇用対策など	7,000円

【主な使い道】

民生費(24億円↓)

- ▷ 高齢者などへのバス特別乗車証の交付
- ▷ 認定こども園などへの運営費の支給
- ▷ 非課税世帯などへの給付金の支給



衛生費(6億円↑)

- ▷ 新型コロナウイルスなどのワクチン接種
- ▷ 子ども医療費の助成
- ▷ ごみの収集運搬



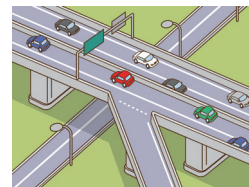
教育費(23億円↑)

- ▷ 小・中学校のトイレなどの改修
- ▷ YS アリーナ八戸・美術館などの管理運営
- ▷ 四大陸スピードスケート選手権大会の開催経費



土木費(30億円↓)

- ▷ 十三日町・十六日町地区再整備への支援
- ▷ 新大橋の整備
- ▷ 道路照明灯のLED化



企業会計

市営バス

図運輸管理課 ☎25-5141

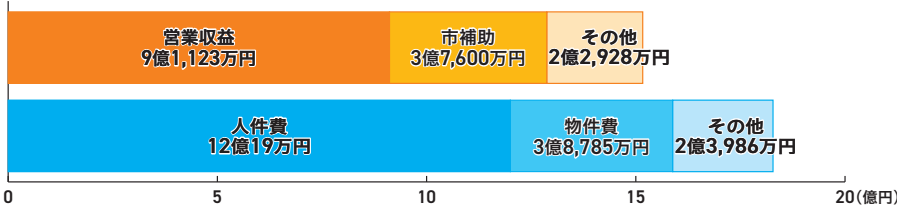
市営バスは、毎日、多くの皆さんにご利用いただいておりますが、バス事業を取り巻く環境は依然として厳しく、交通手段の多様化、人口減少・少子化の進行、コロナ禍の移動需要の変化により、運送収益は大幅に減少しています。今後も、皆さんに利用してもらえるよう、より一層の利便性向上に取り組むとともに、信頼され親しまれる市営バスを目指していきます。

【利用者数】517万5,687人(一日平均1万4,180人)で、前年度より0.6%増加しました。

収入－支出＝-3億1,139万円 過去からの累積損失＝11億2,838万円

収入 15億1,651万円
(前年度比8,026万円減)

支出 18億2,790万円
(前年度比7,783万円増)



詳しくは
こちら

市民病院

図市民病院管理課 ☎72-5111

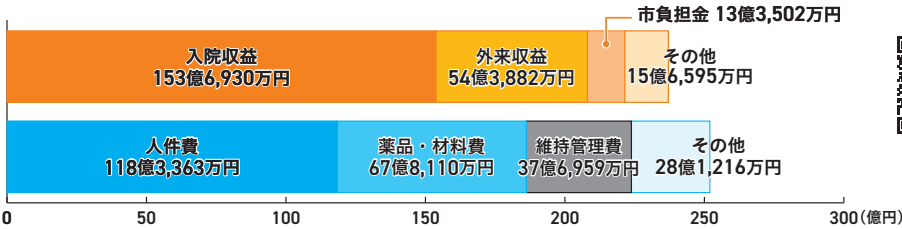
市民病院は地域の中核病院として、住民の生命と健康を守るため、救命救急医療、周産期医療などの急性期医療・高度で専門的な医療を中心に、感染症医療や緩和医療などの政策医療も担い、幅広い医療を提供しています。

今後も厳しい経営状況が続く見込みですが、一層の経営健全化と質の高い医療の提供に努めていきます。

収入－支出＝-14億8,738万円 過去からの累積利益＝11億1,248万円

収入 237億909万円
(前年度比4億5,779万円減)

支出 251億9,648万円
(前年度比12億377万円増)



詳しくは
こちら

下水道

図下水道業務課 ☎44-8259

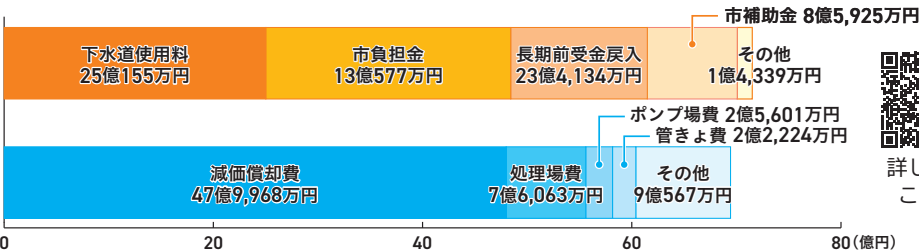
下水道事業では、家庭や工場などから排水された汚水を受け入れ、きれいな水へと処理しています。また、市街地に降った雨水を速やかに排水することで、市民の皆さんの衛生的な生活環境の確保と浸水被害の解消に貢献しています。

今後も健全経営に努め、安定的な下水道サービスを提供していきます。

収入－支出＝2億707万円 過去からの累積利益＝9億7,261万円

収入 71億5,130万円
(前年度比1億8,124万円増)

支出 69億4,423万円
(前年度比1億6,816万円増)



詳しくは
こちら